

平成30年度 十勝農試 定期作況報告 小豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年並の5月24日であった。5月下旬以降やや高温に経過し、降雨もあったことから出芽は良好で、出芽期は平年より1~2日早かった。その後、6月中旬は低温寡照に経過したことから生育は停滞し、主茎長及び本葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	やや不良	7月上旬以降も低温寡照傾向であったことから生育は引き続き緩慢で、主茎長、本葉数、分枝数ともに平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	不良	7月下旬は高温に経過したことから生育はやや回復したものの、主茎長及び本葉数は平年を大きく下回っている。開花始は平年より5~7日遅く、現時点では着莢数は平年より少ない。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	不良	「きたろまん」及び「エリモショウズ」の成熟期は平年より5~6日遅かった。主茎長、主茎節数及び着莢数は平年を大きく下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
10月20日	不良	「アカネダイナゴン」の成熟期は平年より11日遅かった。3品種とも着莢数は平年を大きく下回り、一莢内粒数は平年よりやや少なかった。「きたろまん」及び「エリモショウズ」の百粒重は平年を上回ったものの、子実重は平年比74~81%と低収であった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種期は平年並で、播種後の高温により出芽は順調であった。6月中旬から7月中旬まで低温寡照に経過したことから、初期生育は平年より劣り、開花始は平年より5~7日遅かった。7月下旬は高温に経過したものの、生育量は依然として平年より少なく、着莢数は平年の7割程度にとどまった。8月上旬から9月中旬まで平年並からやや低温に経過し、莢の登熟がゆっくり進んだことから、成熟期は平年より5~11日遅く、百粒重は平年より重かった。一莢内粒数は平年よりやや少なく、子実重は平年比74~81%と低収であった。屑粒率は「きたろまん」で平年よりやや多く、「エリモショウズ」で平年並、「アカネダイナゴン」でやや少なかった。検査等級は平年並からやや劣った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

項目/年次	きたろまん			エリモショウズ			アカネダイナゴン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	
出芽期(月日)	6.5	6.7	△ 2	6.6	6.7	△ 1	6.6	6.7	△ 1	
開花始(月日)	7.27	7.20	7	7.26	7.21	5	7.27	7.22	5	
成熟期(月日)	9.17	9.11	6	9.19	9.14	5	10.1	9.20	11	
主茎長 (cm)	6月20日	4.4	4.6	△ 0.2	4.3	5.2	△ 0.9	4.6	5.4	△ 0.8
	7月20日	15.5	26.3	△ 10.8	18.1	27.4	△ 9.3	15.4	25.0	△ 9.6
	8月20日	43.7	76.6	△ 32.9	46.1	78.1	△ 32.0	42.3	87.8	△ 45.5
	9月20日	44.4	83.8	△ 39.4	44.8	84.7	△ 39.9	42.6	98.7	△ 56.1
	成熟期	44.4	83.8	△ 39.4	44.8	84.7	△ 39.9	45.7	98.7	△ 53.0
本葉数 (枚)	6月20日	0.5	1.0	△ 0.5	0.4	1.0	△ 0.6	0.5	0.9	△ 0.4
	7月20日	5.3	8.0	△ 2.7	5.6	8.3	△ 2.7	5.7	8.5	△ 2.8
	8月20日	10.0	12.8	△ 2.8	11.3	13.9	△ 2.6	12.5	15.8	△ 3.3
主茎節数 (節)	9月20日	11.6	13.9	△ 2.3	12.4	14.9	△ 2.5	15.1	16.8	△ 1.7
	成熟期	11.6	13.9	△ 2.3	12.4	14.9	△ 2.5	15.3	16.8	△ 1.5
分枝数 (本/株)	7月20日	3.2	3.8	△ 0.6	2.7	3.8	△ 1.1	2.7	4.1	△ 1.4
	8月20日	3.8	4.0	△ 0.2	4.3	4.4	△ 0.1	4.6	4.9	△ 0.3
	9月20日	3.7	3.4	0.3	3.3	3.9	△ 0.6	4.5	4.6	△ 0.1
	成熟期	3.7	3.4	0.3	3.3	3.9	△ 0.6	4.0	4.6	△ 0.6
着莢数 (莢/株)	8月20日	38.2	69.5	△ 31.3	41.7	74.0	△ 32.3	29.8	70.9	△ 41.1
	9月20日	39.9	54.4	△ 14.5	40.8	60.5	△ 19.7	41.1	71.7	△ 30.6
	成熟期	39.9	54.4	△ 14.5	40.8	60.5	△ 19.7	48.7	71.7	△ 23.0
一莢内粒数(粒)	6.03	6.38	△ 0.35	5.65	6.09	△ 0.44	3.95	4.12	△ 0.17	
総重(kg/10a)	477	645	△ 168	536	704	△ 168	526	638	△ 112	
子実重(kg/10a)	288	390	△ 102	300	372	△ 72	279	365	△ 86	
百粒重(g)	18.9	15.1	3.8	16.7	13.4	3.3	21.9	17.3	4.6	
屑粒率(%)	9.4	6.0	3.4	6.2	6.1	0.1	4.9	6.6	△ 1.7	
品質(検査等級)	3下	3中	-	3下	3中	-	4上	4上	-	
子実重対平年比(%)	74	100	△ 26	81	100	△ 19	76	100	△ 24	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成27年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
 4) 品質(検査等級)は旧農産物規格規定(一般小豆の規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一 区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12.0	3	春播き小麦	60	20	2	8,333	5.24
施肥量 (kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		